

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成17年度(昭和38年度)	根拠法令・例規等	水道法、公益事業法
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室) 水道課 合 職・氏名 施設係長 杉本成彦 先 電 話 0869-66-9794 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	05	安全に暮らせるまち	
	小項目	施策	14	安全でおいしい水の安定供給	
事務事業名		03	水質管理事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者	
目的(何のために)	安価で良質な飲料水を安定的に供給するため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水の停滞しやすい場所でも、水質基準に適合し衛生上の措置として残留塩素を必要量保持した、安心・安全な飲料水を供給する。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	水質管理事業	水質検査(原水・浄水基準項目) 13ヶ所 年1回	◎
			水質検査(浄水省略不可項目) 13ヶ所 年3回	◎
			水質検査(原水・浄水簡易項目) 13ヶ所 年8回	○
			水質検査(水質管理目標設定項目) 4ヶ所 年1回	○
			水質検査(原水指標菌) 6ヶ所 年4回	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	6,364	6,282	6,731
	必要人員	人	0.36人	0.31人	0.18人
	事業費	千円	10,004	9,375	8,417
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	10,004	9,375	7,928
繰入金	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円				
受益者負担比率	%	100.0%	100.0%	94.2%	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	説明		水質検査(原水・浄水基準項目)		
	結果指標量		13	13	13
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,019,578	1,995,100	2,109,261
単位当たりコスト	円	155,352	153,469	162,251	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	水質基準の適合率	目標値(A)	100	100	100	100
		実績値(B)	100	100	100	到達目標値
		達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
定期的に実施している水質検査の結果が水質基準に適合している割合。(適合件数/対象件数)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		A

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		状況		○					
説明		水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインに基づき、前年度と同様に水質基準の適合率100%を維持するよう努める。							

総合評価		総合評価
水道事業にとって水質管理は重用であり、改訂する度に厳しくなっている水質基準に対応するため、水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)認定水質検査機関と連携しながら技術の向上に努めている。		総合評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低い
		A

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		方向性		○					
取組目標		平成27年4月に施行される水質基準の見直しに対応するため、水道GLP認定水質検査機関と連携しながら技術の向上に努めてゆく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら